

## 《学校教育目標》

「あやま」を愛し、心豊かに、たくましく、ともに生きる生徒を育てる。

## 《めざす生徒像》

- \*自他の生命および人権を大切にする生徒
- \*自ら意欲的に学び、また、互いに学び合い、課題解決能力を持つ生徒
- \*目標に向かって、なかまとともにたくましく最後までやりぬく生徒
- \*『あやま』の人とともに「地域」を大切にし、国際社会に貢献できる生徒



取組目標	具体的な取組	評価目標 (生徒・保護者アンケート等)
【学力】 学び合い高め合う授業を展開し、わかる楽しさを仕組みます	①すべての授業で、主体的・対話的で深い学びをめざす。 ②家庭学習の定着を図る。(「毎日1ページ以上」「週末課題」「読書」の推進) ③教職員の授業力向上を図る。	・授業がわかる 85% ・授業が楽しい 80% ・平日家庭学習90分以上 80%
【人権】 すべての生徒が安心して学べる学校づくりをすすめる中で、小中の連携を大切にし、「なかまづくり」「自分づくり」「地域づくり」を推進します	①小・中学校を通した系統的な人権教育を推進する。 ②自立と共生に向けて必要な力を養う。 ③生徒との信頼関係を深め、いじめ等の早期発見・早期解決に努める(教育相談3回以上・毎日の三行日記) ④互いを尊重しコミュニケーション力豊かな生徒集団を育成する。(人権集会年2回・人権サークル週1回)	・クラスのなかで、自分の思いや伝えたいことを安心して言える。 80% ・自分には良いところがある 80% ・先生は努力したことを認めてくれる 90% ・信頼できる友だちがいる 90%
【キャリア】 「なりたい自分」を描き、夢・目標の実現をめざします	①その人の生き方に学ぶ場面として人との出会いを仕組む。 ②学校生活の向上に向けて行動する生徒を育成する。(挨拶・整理整頓・時間厳守/生徒会活動や部活動等での自律的な運営/生徒会役員と校長との話し合い等)	・学校へ行くことは楽しい 85% ・自分には夢・目標がある 80%
【家庭・地域】 『あやま』の人とともに「地域」を大切にする子どもを育てます	①日常から、『あやま』に関心を持ち、おとなとも対話できる力をつける。 ②生徒が地域に発信したり、地域の方と対話したりできる機会を設定する。 ③地域と協働した取組を行う。(登下校指導・防災教育等)	・学校は、家庭や地域とのつながりを大切にしている 90%
【教職員】 職員が健康で、意欲と向上心を持って働ける環境にします	①職員同士の対話を中心とした相互理解と研鑽を大切にする。 ②過重労働・総勤務時間の縮減を行う。	・水曜日の定時退校 90%

